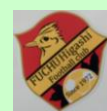


平成30年3月16日

風は東から

To be continued...



44期生22名が東高を卒業 !!
東高での三年間がこれから生きる!!

Congratulations !! 44期生サッカー部22名が卒業 !!

いつまでも “志” 高く、Next stageでも大きく翔け !!

3月7日(水)、「第44回 卒業証書授与式」が行われ、三年生301名が府中東高校を卒業していきました。今年の冬は例年になく寒い日が続きましたが、三月に入り、春を感じられる陽気の日が続き、この日も暖かい陽ざしの中で卒業式を迎えることができました。三年生のサッカー部員22名も、この東高のグラウンドで三年間厳しいTRで揉まれ、濃密な時間を共に過ごした仲間たちとともに卒業証書を受け取り、待ち受けていた保護者と後輩たちに送り出され、立派な姿で東高を巣立って行きました。

この三年生は、43期生の作った新たな東高サッカー部の土台をもとに、今年はインターハイ、選手権とも予選を勝ち上がり、選手権二次トーナメントではライバルの強豪日野台高校に勝利し、続く全国区の国学院久我山高校戦では、終了間際までリードするものの最後は力及ばずに延長戦の末敗退。大金星は逃しましたが、高校サッカー界では、ちょっとした話題となりました。また、地区トップリーグでは念願のTリーグ昇格を決め、各地区リーグでは全て優勝し昇格するなど、今年の日頃積み重ねてきたプロセスに加えて結果も伴うことができました。

44期生は、自分の担任学年でもあり、放課後の部活だけではなく、学校生活全般に亘り緊張感を持った日々を三年間過ごしてきました。中には、三年間クラス担任であったものもいます。理不尽な要求や怒鳴られたこともありましたが、仲間と支え合い乗り越えてきました。その中で、各学校行事やクラスで委員長や代表を務めるだけではなく、部活動以外の活動で学校の中心となり活躍もしてきました。もちろん、彼らが表の舞台だけでなく日影の部分でも貢献してきたことは、サッカーの神様のみぞ知るところです。サッカー面だけではなく、学校生活に於いても十分な成果を見せてくれた子どもたちなので、多くのサポーターがいたのは言うまでもありません。



＜ 東高サッカー部で共に支えてきた22名の仲間たち。三年間で遅くなれた!! ＞

感謝の気持ちを忘れず、驕らず、謙虚で誠実な人であれ!!

三年間、およそ 1000 日間の高校生活 = (イコール) 高校サッカーが終了しました。やりたいことに集中して全力でできた濃密な時間はこれで終了します。ここから先は、東高サッカー部で培ったことを糧にそれぞれが新たに引いたスタートラインに立ち、選択した道を信じて進んでいきます。自分で生活をコントロールする(自律)ことは、東高サッカー部で十分に学んだことと思います。これからは、志高く自分の決めた道を、自信を持って自分の足で歩いて(自立)欲しいと思います。

そして、ここまで自分のやりたいことを陰で支えてくれた、一番のサポーターであり良き理解者である保護者への感謝の気持ちは絶対に忘れず(三送会でのコメントを聞いた限りでは理解しているようです)、必ずその気持ちを言葉にして伝えて欲しい。

そして、いつまでも、「**驕らず、謙虚で、誠実な人**」であり続けて欲しいとスタッフ一同心から願っています。 **卒業おめでとう!!**



＜一番のサポーターであった保護者と記念撮影!! 「ありがとう」と言わずにはいられない＞

保護者の皆様には、三年間に及ぶサッカー部の活動への御理解・ご協力本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。また、卒業式の三日前に行われた**三送会**では、素晴らしい企画と運営、手作り感満載の温かいオモテナシで大いに盛り上げて頂いた現役部員の保護者の方々ご苦勞様でした!! 卒業生とその保護者にとって、心に残る送別会になったと思います。ありがとうございました。今後もいい伝統として引き継いでいきたいですね!!



三
送
会

